「エコロジカル・アプローチの視点から学ぶ ～ご本人を取り巻く環境を知る」

平成27年7月17日（金）の公開研修会は「エコロジカル・アプローチの視点から学ぶ　～ご本人を取り巻く環境を知る～」と題して、鴻池会地域ケアセンター橿原の介護支援専門員：松村光子氏を講師に開催させて頂きました。

始めに、エコロジカル（生態学）とは、生き物と環境との相互作用の理論であり、人は周りの人・物・規則・自然などの環境による影響で変化し、自身も人や環境に影響を与えている。この考え方を対人援助にあてはめて、その人を取り巻く環境に働きかけることで間接的に本人の支援につなげることがエコロジカルアプローチであると説明がありました。

今回の研修会は、この考え方を学ぶため、一人の男性の在宅復帰を支援するという事例をエコマップを使用しながら紹介されました。

複雑な経過と環境が段階的に紹介され、実際に自分たちの地域の問題として考えた場合、それぞれの立場で「自分ならどんな支援ができるか？」というテーマでグループワークを行いました。参加された専門職の方々や地域の皆さんからは、介護者の負担を軽減するための具体的な提案が出されたり、民生委員という立場から「介護保険の申請を支援して行政につなげては？」や、自分の地域の人だったら「病院の送迎を手伝うことができるわ」といった積極的な意見が挙がりました。

今回の研修会では、支援を必要としている人の立場に立ち「地域の一人として、今、できる事」をエコロジカルな視点で捉えることを学びました。

私たちは誰一人として一人で生活しているわけではなく、誰かを支えたり支えられたり、職場や学校や近隣の一人としての役割や、家庭においての役割を持ち、複雑な人間関係を築いて生活が成り立っています。

そのひとが住み慣れた地域で暮らし続けるために支援するには、その人だけを見るのではなく、その人を取り巻く環境全体を見る広い視野を持つと同時に、私たちもそのひとを支える環境の一員であると再認識することができました。